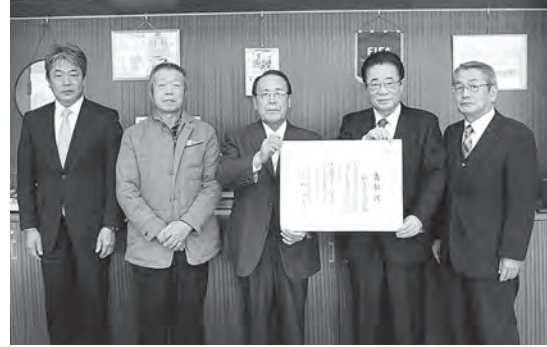


県文化振興財団 顕彰受賞報告



県文化振興財団顕彰受賞報告は2月8日、市役所で行われ、相馬民謡同好会の会員4人が立谷市長に受賞を報告しました。

訪れたのは、杉本榮一相馬民謡同好会会長、渡邊孝喜同会副会長、小関敬義同会副会長、鈴木一弘同会事務局長。

今回の受賞は、相馬民謡同好会が長年にわたって相馬民謡の振興に貢献したことが評価されたものです。

同会を代表して杉本会長があいさつし、立谷市長が受賞をたたえました。

仙台フィル管弦楽九重奏 名曲コンサート



そうま音楽夢工房第63回演奏会「仙台フィル管弦楽九重奏が奏でる名曲コンサート」は2月11日、市民会館大ホールで開かれ、約200人の来場者が奏でられる名曲に聞き入りました。

訪れたのは、仙台フィルハーモニー管弦楽団のフルート、オーボエなどの管楽器奏者、ヴァイオリン、ヴィオラなどの弦楽器奏者9人。

コンサートは、L.アンダーソンの「舞踏会の美女」やA.シュライナーの「だんだん小さく」などが演奏され、それぞれの奏者が使用する楽器紹介を行ったほか、来場者が舞台上で仙台フィルメンバーと一緒に演奏する体験コーナーがありました。

来場者は、管楽器と弦楽器が織りなすメロディの響きに魅了されたほか、曲の合間のトークで会場が笑いに包まれるなど、和やかな雰囲気のなかでコンサートを楽しんでいました。



楽器演奏の体験コーナー

相馬から全国へ スポーツ大会出場報告



スポーツ大会出場報告は1月24日、市役所で行われ、ソフトテニス競技において全国に出場する選手らが立谷市長に報告しました。

訪れたのは、佐藤円選手(桜丘小6年)と藤井心愛選手(中一小6年)の2人。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、藤井選手と佐藤選手が大会への意気込みなどを述べました。

文化財防火デー 都玉神社で消防訓練



文化財消防訓練は1月27日、市指定文化財の都玉神社(坪田)で行われました。

当日は消防署、市消防団、市女性消防隊、地域住民など約80人が参加。

速やかな119番通報を行った後、消防署と消防団のポンプ車が到着。本殿より火災発生の想定のもと放水し、延焼を防止しました。

続いて消火器を使った消火訓練も行われ、万一の火災に備え、防災意識を高めました。

災害市営住宅を初の払い下げ 程田明神前住宅

市営災害市営程田明神前住宅
譲渡調印式は1月20日、飯豊
公民館で行われ、関係者約30
人が参加しました。

式で立谷市長は「市は、一
日でも早く復興住宅を造り、
少しでも安く払い下げを行
えるように頑張ってきました。
ぜひこの住宅を皆さんの財産
にして、次の世代に引き継い
てください」とあいさつし、
米山光喜市議会議長が祝辞を
述べました。

払い下げを受ける住民を代

表して、但野一男飯豊第八区

長が「自分たちの持ち家とし
て、より一層の愛着をもって、
周りの住民と支えあいながら
暮らしていきます」とあいさ
つした後、但野区長と立谷市
長が市営災害市営住宅譲渡契約
書に署名し契約を取り交わし
ました。

東日本大震災の被災地で災
害市営住宅の払い下げは当市
が初めて。

今回、払い下げられる住宅
は23棟の予定です。



青ノリ収穫に活気 松川浦



昨年、東日本大震災以降、7年ぶりに青ノリの収穫
を再開させ、今季は昨年以上の収穫量が期待されてい
ます。

1月24日、岩子地区の漁港から14隻の船が朝早く
から出港し、作業を開始。

青ノリは受け棚の網についているところを専用の機
械で吸い取って収穫されます。

当日は松川地区からも船が出港しており、岩子地区
と合わせて、約1,810キログラムの青ノリが収穫され
ました。

収穫後、青ノリは脱水作業と放射性物質検査を経て、
地元の4業者が仕入れ、市内を中心に生ノリとして流
通しました。

収穫は5月初旬まで、月に8回程度行われます。

力作が並ぶ 支援学校即売会



県立相馬支援学校の作業製
品展示即売会は2月6日と
7日、シヨッピングタウンベ
ガ・イオン相馬店で開催され
ました。

生徒たちが制作した刺し子
製品や手すき和紙カレンダー、
陶器などが展示され、多くの
人たちが製品を買い求めまし
た。

この展示即売会は、同校の
作業学習で制作した品物を展
示即売するもので、学校での
教育活動を知らせる啓発活動
の一環として毎年開催されて
います。

数の不思議を体験

親子算数教室

親子算数教室は2月3日、
中央公民館で行われ、市民ら
約20人が参加しました。

教室は、数と形の不思議を
楽しむことよって、算数へ
の興味や関心を高めること、
親子が一緒に問題に取り組む
ことよって絆を強めること
を目的に、日本数学協会福島
支部代表の五輪教一氏を講師
に招いて開催されました。

参加した親子らは、キャベ
ツやひまわりなどの植物の葉
の付き方や形に規則性がある
ことなどを知り、算数は教科
書の上だけでなく自然界に
もたくさん存在していること
を学んでいました。



子どもたちの成長を感じる 運動能力測定



運動能力測定イベントは2月3日、相馬こどもドームで開催され、市内外から野球の

スポーツ少年団ら約120人が参加しました。

同イベントは、株式会社アシックスが東日本大震災で被災した子どもたちの支援活動の一環として、子どもたちのやる気を後押しするきっかけづくりなどを目的に、昨年に続き開催されました。

運動能力測定の内容は、バットのスイングスピード、投球スピードなど5種目。

参加した子どもたちは、計測される自分の数値に一喜一

憂しながら、仲間たちと各種目の数値を競い合っていました。



子どもたちに笑顔を スポーツ笑顔の教室



スポーツ笑顔の教室は1月22日、八幡小学校の5年生23人を対象に開催されました。

訪れた夢先生は、Jリーグで活躍した元サッカー選手の西嶋弘之先生。

同教室は、体育館で体を動かす「ゲームの時間」と教室で夢先生の体験談をもとに夢を持つことの素晴らしさを伝える「夢トークの時間」の2部構成で実施され、スポーツこころのプロジェクト主催。

「ゲームの時間」で、参加した児童らは夢先生と協力し、楽しみながらゲームの達成を目指しました。

「夢トークの時間」では、サッカー人生の中でうまくい

かず苦しい時も、夢をあきらめず仲間と協力して乗り切ったこと、夢を持つことの大切さを子どもたちに伝えました。



磯部盆踊りを後世に 民謡体験教室

民謡体験教室は2月8日、磯部小学校で開催され、全年児童36人が参加しました。

教室は、地元の民謡に触れることで興味や関心を持ち、地元民謡の後継者育成を目的に開催。



当日は、磯部盆踊り保存会の渡邊嘉孝会長ら9人が講師として招かれ、児童らに相馬盆唄の歌い方や太鼓のたたき方を指導しました。

児童らは太鼓と唄のパートごとに分かれ、太鼓の独特のリズムに悪戦苦闘しながらも必死に覚えようと練習し、唄は楽しく大きな声で歌うことを念頭に指導を受けました。

教室の最後には、練習の成果として保存会らと児童は一緒に相馬盆唄を歌いました。

磯部小学校の民謡体験教室は、毎年継続して開催され、保存会からの指導を受けた児童らは学習発表会や運動会などで、地元の住民の方に披露しています。

知ってほしい 子どもたちの居場所

～ふくしまで活躍する女性の講演会～



福島で活躍する女性の話を聞くため2月3日、市民会館で講演会が行われ、市民ら約90人が参加しました。

市女性団体連絡会、男女共同参画プラン推進会議の共催。県スクールソーシャルワーカーであり、白河市で子どもたちのための食堂を営む鴻巣麻里香非常利任意団体KAKK ECOMI代表理事を招き開催されました。

参加者らは、講師の話を熱心に聞き入り、講演会が終わった後も講師と多くの意見を交わしていました。

防災マップで最高賞を受賞 川原町児童センター



川原町児童センターに通う児童18人は1月26日、第15回ぼうさい探検隊マップコンクールで最高賞を受賞しました。

当コンクールは、小学生が防災や防犯をテーマに身近な危険箇所や避難場所をまとめた手作り地図を競いあうもの。

川原町児童センターの「みつばち探検隊」18人は、防災をテーマに設定し、マップを完成させ、防災担当大臣賞を受賞しました。

マップ制作に取り組んだ児童らは、社会福祉協議会から高齢者の疑似体験用装具を借りるなど、より対象者に近い目線で街中を歩き回り、実際に見たことや感じたことをマップに盛り込みました。



フラワーアレンジメント教室は1月29日、西部子ども公民館で開催され、地域の子ど

世界で自分だけの作品づくり フラワーアレンジメント教室

もたちやお年寄りの方など約40人が参加しました。

この教室は、社会福祉法人報徳会の主催で、地域の世代間交流を目的に開催。

参加した子どもたちは、花の形をきれいに整えることに苦戦していましたが、一緒に参加したお年寄りの方に教わりながら作成し、出来上がりました。

完成した作品は、参加者に自宅などの鑑賞用としてプレゼントされました。



地元食材を食べ て健やかな体に

中村二中

全国学校給食週間の一環として、地元食材を使用した給食が1月28日、中村第二中学校で提供されました。

全国学校給食週間は、1月24日から30日までの期間で設定され、新鮮な地元食材を使用した学校給食を通して健康づくりを行うものです。

今回給食に使用されたのは、地元食材であるコガレイ、大根、ネギなど。

生徒たちは、地元食材の味を噛みしめながら、笑顔で舌鼓を打っていました。

